

(10) 蕨駅西口新図書館移転に係る検討状況について

【現在の主な検討課題】

- ①開館時間の延長
- ②Wi-Fiの提供
- ③閲覧席数の増加
- ④閉架書架における集密書架の採用
- ⑤蔵書数の増加
- ⑥蔵書資料へのICタグの装着
- ⑦自動貸出機の導入
- ⑧開館時間の延長に伴う人員の確保
- ⑨グループ学習室の設置
- ⑩南町地区における分館機能の設置
- ⑪蔵書点検に伴う休館日の削減（IC化による効率化）

参考 新図書館に関する一般質問

令和4年3月定例会 一般質問

発言議員：山脇紀子議員

答 弁 者：渡部幸代教育部長

質問要旨：新しい図書館の整備・検討はどう進められているか。開館時間の延長についてはどうか。Wi-Fiの設置や学習スペースの整備状況、蔵書数についてはどう検討しているか。

(登壇)

質問内容：蕨駅西口地区市街地再開発事業の公共公益施設の検討において図書館と行政センターが整備をされることになりました。書庫が限られてしまったり、40年以上が経過をした建物の老朽化、学習スペースの拡大や開館時間の延長など、多くの課題を解決する方法として駅前への図書館の設置はとてもうれしいニュースです。

そこで1点目には、新しい図書館の整備・検討はどう進められているのか。開館時間の延長についてはどのようなか。Wi-Fiの設置や学習スペースの整備状況、蔵書数についてはどう検討されているのか、お聞きをいたします。

答弁内容：「図書館の整備状況」の1点目「新しい図書館の整備・検討」についてではありますが、開館時間の延長、Wi-Fiの提供、閲覧席数の増加につきましては、令和元年度に行ったアンケートやワークショップにおいても要望が多く寄せられておりますので、そうした点も踏まえ検討を進めているところでございます。また、蔵書数につきましては、図書館の床面積が約1.2倍となることや、効率的に収納できる書架を採用することにより、増加を見込んでおります。

(再質問)

質問内容：図書館が整備をされるということで、新しい場所に新図書館の整備のスケジュールについては、今わかる段階でおおよその目安を教えてください。あと新図書館になりまして自動カウンターなどの設置も検討されているのかお聞きをしたいのと同時に、人的配置ですね。その人数の配置についてはどのように考えておられるのか、お聞きをしたいと思います。

答弁内容：現時点での大まかな予定になるかと思うんですが、令和7年度中に建物が竣工する予定であるというふうにお伺いしております。竣工してから実際に図書館が稼働するまでは、蔵書資料へのICタグの装着であるとか、また、本自体を運搬するような作業が当然必要になって、そこで準備も必要になりますので、新しい図書館が開館するまでは竣工後、3カ月程度はかかるのではないかと考えております。また、現在自動貸し出し機等についても大変ご要望等も多いですし、駅前に行くことによって、通勤の方等利用される予約本の利用等も増加するのではないかと考えておりますので、現在は自動貸し出し機についても導入する方向で検討しているところでございますので、こういった機器の導入であるとか、あとは先ほどの開館時間の延長、こういったもので人的配置は大きく変わるものと考えられますので、今後、十分に検討していく必要があるかなというふうに思っております。

質問内容：ありがとうございます。自動カウンターが設置をされるということでも、やっぱり司書さんの仕事というのは大変重要ですので、その司書の数は減らさないでできたらなと思いますので、よろしく願います。あと会議室ですとか、グループでの学習スペースを今回広げられるということを知ったんですけども、どのような検討状況にあるのかと、あと床面積については1.2倍ということなんですけども、実際に床面積で現在から新図書館でどのぐらい数値的に広がるのか、これを教えていただきたいと思います。

答弁内容：新しい図書館では、主に会議を開催するための会議室のほか、数人が集まってグループでの学習ができるようなグループ学習室というものを設置する方向では考えているところでございます。それから、現在の図書館と新しい図書館の床面積どのぐらいふえるのかというご質問ですけども、現在の図書館の床面積は1,800平方メートルあります。実際に今度の新しい駅前の新図書館については約2,200平方メートルになるというふうにお伺いしまして、400平方メートル、およそ2割ぐらいが広がるのではないかと考えております。これまで3階建てであったものがワンフロアにおさまるということで、階段のスペースであったり、各階にトイレ等ございましたけれども、そういったものが不要になりますので、スペースを効率的に使えるようになるのではないかと考えております。

質問内容：新図書館になった場合に、南町地域にずっと42年間、もっとあるんですけども、図書館が南町地域にあって、そこがなくなった場合の対応についてなんですけども、南公民館への分館機能ですとか、あと返却ボックスは必ず欲しいなと思ってはいるんですけども、その分館機能などを南公民館に持たせることが可能なのか、そういった検討についてはどのようなお考えなのか、お聞きをしたいと思います。

答弁内容：南町地区から図書館がなくなったときの対応としましては、やはり議員おっしゃられるように42年間そこに図書館があったということで、場所はまだ未定ですけれども、やはりきちんと予約本の受け取りとか返却ができるような分館機能につきましては設置する方向で検討を進めております。

質問内容：開館時間の延長についてなんですけども、新しい図書館になった場合に、今まで点検日というのが特別点検ということで、かなりその時間、閉鎖してしまって、蔵の開館日数を減らしているのかなと思うんですけども、新しい図書館になった場合に、今までの点検日数などが新しいシステムになって減っていくのか。あとは現在午後6時までということで開館になっていきますけども、駅前に設置をされるということで、近隣から見ると、もう少し長く遅くまでやっていただきたいという要望はあるんですけども、その辺の点検の日数とか開館時間の延長については、今現在はどのような検討になっているのか、最後にこの問題をお聞きしたいと思います。

答弁内容：新しい図書館では、IC化を検討しておりますので、蔵書点検の休館日についても減らせるものというふうに見込んでいるところでございます。また、開館時間についても、やはり駅前に行くということで、各市のそういった図書館の状況を見たときに、やはり蔵の今の現状よりは長く開館しているという現状もございまして、そういった状況をかんがみながら検討してまいりたいと思います。